

してきました「肺がん検診」は、新年度から市が事業主体となって実施することといたしました。さらに、自分の健康は自分で守ることから、第三回健康展を開催するとともに、保健衛生教育、健康管理のための各種学級、栄養改善にもなる諸事業も、充実強化して、住民の健康と体力維持増進をはかっていきます。

次に母子保健につきましては医師会、保健会、助産婦会など関係団体の積極的な協力により、着々その実をあげています。

ことは、喜ばしい限りです。母性の尊重、保護と次代を担う乳幼児が、必身ともに健全に成長されるために、今後も訪問指導健康診査および栄養強化、医療費助成などの事業を行ってまいります。

各種予防接種は、引き続き無料とし、対象者全員が参加実施されるよう努力いたします。

地域医療確保充実のため、前年度に引き続き、白根健生病院の第二次建設事業に対し、助成することとし、第二次分一千万円を予算計上いたしました。

学校施設の整備充実にも最大の配慮

近年、特に学校教育に対し、住民からいろいろな要望と期待が寄せられていることは、ご承知のとおりであります。なかでも教育内容の改善、施設設備の充実をはかることについての期待は、極めて大きいものがあります。

関係各位のご協力により、年々その目的達成のために、努力してきましたが、なお多くの問題をかかえています。

新年度も教育基本法の趣旨を尊重しながら、豊かな創造性と情操をもった、たくましい児童生徒の育成に努め、「ゆとりある、しかも充実した学校生活の実現」をはかるため、特に本市のめざす子ども像(こころな子どもに育てたい)については、「自らを鍛え」「自らを伸ばし」「人を励ます」ともに目的達成に立ち向かう」子どもを育てることを、教育の実践上の努力点とし、指導体制の充実をはかり、教職員の研修に努め、積極的に推進することといたしました。

基本的施策であります学校施設の規模の適正化とあわせまして、整備充実にも全力を傾注してまいります。

財政事情が極めて厳しい年ではありますが、継続事業であります茨曾根小学校の体育館の建設、大鷲小学校の管理棟、食堂の建設費を計上いたしました。

新規事業として、小林校区、戸頭校区の住民各位の理解を得て、建設位置も決定いたしました。二カ年継続事業として、用地買収、造成費をあわせて、統合校舎建築六六五平方メートルの新年度事業費を、計上いたしました。

また、白根小学校のグラウンド整備、根岸小学校の学級増にもなう一教室の増築、大鷲中学校の内装工事費に加えて、各小中学校の修繕関係、備品関係についても、その必要度の高いものから、順次実施すべく、経費を計上いたしました。

学校給食については、最近、我が国の米の需給事情から、食生活を再認識すべきであるとの観点から、五十一年度から学校給食に米飯を導入してきました。

米の生産地であります本市の



ゆとりと充実の学校生活を実現するためにも学校施設整備を (大鷲小学校)

地買収、造成費をあわせて、統合校舎建築六六五平方メートルの新年度事業費を、計上いたしました。

また、白根小学校のグラウンド整備、根岸小学校の学級増にもなう一教室の増築、大鷲中学校の内装工事費に加えて、各小中学校の修繕関係、備品関係についても、その必要度の高いものから、順次実施すべく、経費を計上いたしました。

学校給食については、最近、我が国の米の需給事情から、食生活を再認識すべきであるとの観点から、五十一年度から学校給食に米飯を導入してきました。

米の生産地であります本市の

総合体育施設の配置計画を策定

次に、社会教育の振興についてであります。近年の社会的、経済的諸条件の変化の中にありまして、生活圏の拡大と生活様式、生活感の変化が、地域連帯感をも失わせつつあると、いわゆる現状にかんがみ、市民一人ひとりがその生涯を通じて、自らの学習意欲を増大させ、心の豊かさを求め、地域活動、地域学習のできる場として、地区公民館活動費の増額をはかります。さらに施設設備を充実しながら、地域コミュニティづくりを努力していきます。

生涯の学習であり、与えられる教育ではなく、自らが進んで学習することが大切であります。なかでも、成人者学習の市民大学講座は、好評であったことから、引き続き開設し、学習内容、方法などの改善に努めながら、地域に即応した事業の展開を進めてまいります。

次は、社会体育についてであります。明るい地域・家庭づくりの基本は、健康であることとの認識から、近年市民各層から、幅広く体育レクリエーションに対する欲求は、高まりつつあることから、市民の健康、体力づくりを意を用いる所存であります。

総合体育施設の全体配置計画の策定と、地質調査に入ります

その条件整備につきましては運動広場の確保、現在の社会体育施設の効率利用をはかりながら、学校体育施設をも積極的に市民に開放してまいります。

総合体育施設建設用地につきましては、簡易施設を設置し、運動広場として活用をはかってまいります。

総合体育施設建設計画につきましては、施設全体の配置計画を基本とする計画を策定し、建設にあたっては、財政との調整をとりながら、早期実現に努力

そのことをうかがい知ることができま

概要を申しますと、農業生産の再編成の中には、穀物自給率が三〇%と見込まれ、今後さらに、七十六万石におよぶ減反が、明らかにされました。

また、農業構造の改変で、農地制度の改正に沿った施策の進行、食糧制度を中心とした価格政策の新しい方向、そして農村地域整備の四本の重要な柱が明示されたのであります。

今後、十年間を目標とした国の農政の方向は、この答申に沿うところが大きく、それだけに、とかく米作の上に安住してきた本市の農業も、時代の要請にこたえるべく関係機関、農業者ともども農政の方向に、あやまらねばなりません。

いま、第二次白根市農業振興

総合的な食糧供給基地に拡充発展を

農業施策について申し上げます。農業環境は、米の過剰問題を中心に、一層厳しい情勢に入っておりますが、昨春秋、農政

審議会が、内閣総理大臣に答申しました「八〇年代の農政の基本方向」および「農産物の需要と生産の長期見直し」をみて

白根市民憲章

母なる信濃川に、はぐくまれた白根市民は先人の築いた大いなる遺産をひきつぎ、未来をみつめ、郷土の発展をめざす道しるべとして、ここに憲章を定めます。

- 美しい自然のあるまち
- たがいに助け合う しあわせなまち
- 文化とろうおいのあるまち
- 健康で働く豊かなまち
- きまりを守り 明るく楽しいまち

私たちは、意見を出しあい、協力しあい、創意と工夫をこらし、市民としての誇りと希望にみちた、住みよいまちをつくりま

計画を、昭和六十年を想定して策定中です。その基本方針を「農業の複合化を進め、本市農業を総合的食糧供給基地として、拡充発展させる」として「農用地の高度利用を進め」、さらに「農村農業の力強い担い手を養成し」「より豊かな農村社会と生活環境の形成をはかる」という四点に集約しています。

具体的に、集落を基軸とした地域の農業生産の再編成をはかり、農業者の創意と協力の力によって、土地、労働力、機械などを有効に活用する方途を見出し、農家の所得向上と、よりよい生活の実現を目標に、白根市全体の農業振興を確立しようとするのであります。

これには、第一に集落営農計画を策定し、作目、品種、営農類型などを定め、集団転作複合経営を可能とする基盤を形成するものです。第二は土地基盤の整備と、土地の有効利用をはかって、田畑輪換、機械の効率利用とともに地力低下への対策を講ずることとをなっています。

第三に農業生産の組織化と労働力の有効活用であります。専業農家相互補完や、婦人、年寄りの補助労働なども組み込んだ生産組織を指向します。

第四には個別農家の機械、施設の過剰投資による経営の圧迫を避けるため、営農集団や共同利用など、機械施設の組織的効率的利用を追求していきます。

そして第五には、農協、普及

